



関中央ロータリークラブ

2022-2023 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 藤村 伸隆 副会長 山本 義樹 幹事 森 敬 クラブ会報委員長 長谷部 貴司

2022~2023年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「いつも一緒に笑い・夢を描き・そして成長しよう」



4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第2101回例会 2023年5月20日(土) 担当 社会奉仕委員会
「米作り農業体験事業」 集合場所・時間 小迫間 午前8時30分集合

前例会の記録 第2100回 2023年5月11日(木)
卓話 (有)関環境サービス
専務取締役 溝口 泰史様
テーマ 「高純度バイオディーゼル燃料について」
担当 ニコボックス委員会

- *国歌「君が代」斉唱
- *ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
- *「四つのテスト」唱和
- *お客様の紹介

(有)関環境サービス 専務取締役 溝口 泰史様

*会長あいさつ 藤村伸隆会長

こんばんは、本日のお客様は、有限会社関環境サービス専務取締役 溝口泰史様です。「高純度バイオディーゼル燃料について」とのテーマでお話を頂きます。今の時代には欠かせない大切な分野のお話だと思います。どうぞよろしくお願いたします。

私の会長としての任期ももう残りわずかになりました。今迄も副会長さん、幹事さん、他皆様に支えら



れてなんとか務めてまいりましたが、この5月、6月にかけてアフターコロナという事もあるのでしょうか、ロータリーの活動とその他の活動が重なって、出席できない事も多くて皆様に大変ご迷惑をおかけしますが、お許し下さい。

いろいろな、地域でのイベント他作業等もどうしても土曜日、日曜日に集中してきます。又ロータリーの活動もそこに集中してきます。コロナ禍の中ではいろいろ中止になりあまり感じなかったのがアフターコロナとなりどうしても大変さを感じております。こんな事を言うと皆さんにお叱りを受けるかもしれませんが、最近ロータリーの土曜、日曜の作業、活動が増加してきていると思います。もちろん、出席できる方で、無理に出席をお願いしているわけではないですが、何となく、出席できないと負い目を感じてしまう事はないのかと心配しています。その時に無理なく出席できる方をお願いする方向で、出来るかぎり参加頂きたいと思います。山本副会長との会話の中で「ロータリーの活動は楽しくなくてはならない。そうでなくてはやる意味がない」と今年度当初言われたのですが、私もその通

りだと思ひます。そんなロータリーの活動であつてほしいと思ひます。以上ご挨拶とさせていただきます。

*卓 話

有限会社 関環境サービス

専務取締役 溝口 泰史様

テーマ

「高純度バイオディーゼル燃料について」



弊社は昭和 52 年にこの関市にて一般廃棄物収集運搬業の会社として設立されました。現在の事業内容としましては、主に関市からの委託により廃棄物関連の業務を行っています。一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬、し尿処理場・農業集落排水・コミュニティプラントなど生活排水処理施設の維持管理、し尿汲取り、浄化槽清掃・点検、使用済み食用油(廃食用油)の回収及びバイオディーゼル燃料の精製を行っております。その中で本日はバイオディーゼル燃料事業のお話をさせていただきたいと思ひます。

このバイオディーゼル燃料とは植物由来の菜種油や廃食用油などにメタノールを加え、化学反応によって製造されるディーゼルエンジン用のバイオ燃料です。近年、地球温暖化対策が緊急の課題となる中、10 数年前から国内でバイオディーゼル燃料は化石燃料の代替燃料として期待されていましたが過去のバイオディーゼル燃料は不純物が多く、エンジンの故障の原因となっていました。

高純度バイオディーゼル燃料とは今までのバイオディーゼル燃料をさらに減圧蒸留処理と静電気清浄化処理を組合せて不純物を限りなく除去したもので故障の原因を減少させた燃料です。

この燃料の特徴としまして大きく 5 つあり、1 つめは植物由来の再生可能エネルギーということです。多くのバイオディーゼル燃料は、これまでごみとして捨てられていた植物由来の廃食用油を再利用して作られています。ガソリンや軽油等の化石燃料で遠い国々から何時間もかけて調達したエネルギーと違い、普段の生活の中から排出される廃棄物をリサイクルすることから、資源循環型の身近なエネルギーになります。

2 つ目は CO2 排出量ゼロカウントということでバイ

オディーゼル燃料は原料が菜種や大豆など植物の為、使用しても植物自体の成長過程で吸収した CO2 が大気中に帰るだけなので、CO2 の量は実質的に増えないとされています。(カーボンニュートラル) 3 つ目は黒煙と硫黄酸化物を大幅削減ということでこの高純度バイオディーゼル燃料は硫黄酸化物をほとんど含まないため軽油と比較して黒煙の排出を 1/2 から 1/3 削減でき、ディーゼルエンジンの排気ガス対策としても有効です。

4 つ目は車や重機のエンジンを改造せずに使用ということで弊社でも 10 年以上使用していますが車両の改造はまったく必要ありません。

5 つ目は地産地消の社会貢献エネルギーということで地域の家庭や飲食店からでた廃食用油を廃棄物ではなく再生エネルギーとして地域のディーゼルエンジンで活用することで地産地消のエネルギーになります。

この燃料を使用するメリットとしていくつかありますが、先程も少しご説明しましたがバイオディーゼル燃料は原料が植物由来の為、使用しても植物が成長過程で吸収した CO2 が大気中に帰るだけなので、CO2 の量は実質的に増えないとされていることです。軽油を 1 リットル軽油を使うと 2.62 kg/CO2 が排出されるのでバイオディーゼル燃料に変えるだけで削減効果があります。これは 500ml ペットボトル約 2500 本分の体積と同じくらいといわれています。自社でバイオディーゼルの利用ですが現在トラック 9 台で使用していて平成 20 年度から令和 4 年度の実績で約 40 万トンの廃食用油を回収し約 25 万トン使用して約 600 t の CO2 を削減しています。バイオディーゼル燃料の全国での利用実例として重機や、車両、イベント等の発電機、空港、鉄道などに使われていて、関市でも 2022 年 10 月から市所有のごみ収集車、粗大ごみ回収トラックに利用されています。今後の課題としまして廃食用油のリサイクルをより進めていきたいので住民の方にも理解を得つつ一般家庭の廃食用油もリサイクルしていきたいと考えております。事業所等の廃食用油は何らかの形で利用されていますが全国的にみても一般家庭の場合ほぼ再利用されず年間約 10 万トンもの廃食用油

が廃棄されています。このほとんどが廃食用油を凝固剤やキッチンペーパーなどで油を吸わせて可燃ごみに出されるかそのままキッチンに流すかだと思います。可燃ごみとして出されると当然CO2が排出されますし、そのままキッチンに流すと下水道及び浄化槽の水質にも影響し、最終的に川や海が汚染されます。岐阜県全体でも一部の市町村でしか一般家庭の廃食用油の回収を行っていません。関市でも当然行っていないので事業所の皆様方にもご協力していただけたらありがたいです。

***出席委員会**

会員数 29 名、本日の出席 18 名です。

***ニコボックス委員会**

- ・会長、副会長、幹事

本日は大変お忙しい中(有)環境サービス溝口泰史様には卓話にお越しいただき大変ありがとうございます。お話しを楽しみにさせて戴きます。

18 名のご投函ありがとうございました。

***幹事報告**

- ・例会終了後、理事・役員会を行います。

<次例会の案内>

第 2102 回 2023 年 5 月 25 日 (木)

会員卓話 高井 良祐会員

テーマ 「私の趣味」